

- 主催:私立大学図書館協会 東海地区協議会
- 日時:2014年9月11日(木)10:40~12:10(90分 質疑応答込)
- 会場:名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎(愛知県名古屋市)

指導場面での演出力はこれでいいか —教える側の情報リテラシーを問い直す—

仁上幸治 (図書館サービス計画研究所 代表)

1. 講演概要

図書館をめぐる社会環境はいよいよ厳しくなっている。図書館員の非専任化と業務外部委託の拡大の流れの中、図書館員が繰り出す各種のサービス改善策に対して、図書館員という職種の存続を自己目的化して後付けで無理矢理に理屈をつけているのではないか、という疑いの視線さえ感じざるをえない。このジリ貧状況において、はたして反撃の理論と実践を展開し、その成果に対して正当な社会的評価を受けることにつながられるのかどうか。瀬戸際である。

その答えを探すひとつの有力な方法がブランディングである。図書館のミッションやポリシー、サービスのコンセプトなどを見直し、それを目に見える形で内外に提示するためのデザインングにつなげていくには、旧来の図書館界の伝統的な思考形態をいちど清算し、企画立案の枠組み自体を再構築しなければならない。

そこで問われるのが、指導サービス専門家としてのプロ図書館員の力量、つまり、メディアについて指導する側のメディア活用力である。特に、アニメ世代の学生に教えるには、配付資料やスライド、ビデオなどの教材の企画・編集・デザインの質の向上が欠かせない。さらに、講習会や授業における講義や演習などの指導場面で、効果的な自己紹介、理論説明、質疑応答が適切にできるかどうか重要な。

今回の研修では、これまであまり留意されてこなかった「演出」という視点を取り上げる。例えば、オリエンテーションの場合、同じ時間枠の中で同じ配付資料を使っても、時間配分や配付のタイミングしだいで受講者の集中度や理解度は大きく変わる。論文検索のコツを説明する場面では、使う例題の選び方や画像の見せ方を工夫することによって指導効果を大きく高めることができる。こうした効果最大化のための現場レベルでの工夫を仮に「演出」と呼んでおく。

図書館と図書館員の存在理由が根本から揺らいでいる危機的状況にあつては、図書館員自身のメディア活用力を大胆に見直す必要があること、そして、これからの能力開発の課題として、研修のありかた自体の改革が必要不可欠であることを問題提起したい。

「演出」という新しい視点を共通認識とし、それぞれの持ち場で創意工夫を凝らして応用実践し、その成果を内外にアピールしていくことができれば、図書館と図書館員の指導サービス面の専門性への社会的評価を向上させることができる。さらに実践成果を発表し共有していくことによって、次世代への経験の伝承も可能になる。

今回の研修が、専門職としてのサバイバルを賭けた後退戦に多少とも貢献できればと願うばかりである。

2. 講演内容

<目次>

【1】図書館員の疲労状況

【2】東海地区での講演の復習

【3】発想の転換

- 1)固定観念を捨てる
- 2)ダメモト
- 3)何でもあり
- 4)あるモノ使い
- 5)「できない」と言わない
- 6)PULL から PUSH へ

【4】演出力を鍛える

演出

効果最大化のための現場レベルでの工夫

- 1) サイン
- 2)オリエンテーション(ガイダンス)

3)講習会

4)フライヤーとポスター

5)会議

【5】演出研究のヒント

- 1)笑いの研究
- 2)ライティング支援に踏み込む
- 3)街へ出る

■1. 参考文献

■2. 参考サイト

■3. 講師紹介

質疑応答

参加者アンケート

【1】図書館員の疲労状況 *****

図書館員は疲れている！

事例
図書館員の生き残りという問題意識
現場での改善努力
各種研修機会に参加
自主的な研究会・勉強会の運営参加

本末転倒
研修の準備・運営・事後処理に要する時間と労力
現場でのサービス改善に投入し成果を出す余力なし
(懇親会はひとまず措く。(笑))

事例：MULU

●2012.01.28-MULU(みちのくライブラリアン連合)1月茶話会 話題提供「図書館ブランディング「超」入門講座－何を誰にどうアピールするか－」東北学院大学中央図書館
http://mulu.g.hatena.ne.jp/michinoku_librarian/20120210/1328868026

●2014.08.13-MULU5周年記念定例茶話会第50回「24時間茶話会 MULU は地球(みちのく)を救う！-今日日はまるごと図書館三昧-」講演「お疲れライブラリアン講座 即効！元気回復！PR・ブランディング・広報のソゴ技を一挙に紹介します！」東北大学川内キャンパス教育学部棟
http://mulu.g.hatena.ne.jp/michinoku_librarian/20140808/1407485355

ジリ貧

大辞林 第三版

じり貧

① しだいに貧乏になっていくこと。反対語：どか貧

2014年05月10日
第72期名人戦7番勝負/第3局
質問:66手目△4五歩で本格的な戦いになったが、仕掛けに成算はあったのか。
羽生「もう行かないとジリ貧になってしまうので……。自信があったわけではないが、指す手がなくなってしまっしょうがないかなあと」

「ジリ貧」状況

専門職としての社会的評価が低落
「専任・専門・正規」の地位を失う
自己保身的な弁明

状況判断

地道な努力の積み重ね？
いつかは評価される、はず？

どこが専門職？

メディアのプロ？
保存と貸出のプロ？

編集のプロ？
媒介のプロ？

ジリ貧の打開
現状打開型の挑戦的思考へ
疲れていてもがんばる！

経験の共有
専任・専門・正規の崩壊
伝承・共有の困難化

研修という裏テーマ

疲れていても研修は必要
研修のあり方を見直す
求められる成果

事例：ダイトケン福岡

●2013.07.06-07-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別研修「ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディング ～潜在ユーザー発掘大作戦～」九州女子大学・九州女子短期大学付属図書館 3F 多目的学習室(福岡県北九州市)

[案内] <https://sites.google.com/site/dtkfukuoka/home>
[実況1日目] http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20130710
[実況2日目] http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20130711
[報告] [資料一式・アンケート結果]

<講師資料・各班発表資料・アンケート結果>
<https://sites.google.com/site/dtkfukuoka/home/document>
<当日のツイッターまとめ>

<http://togetter.com/li/530375>

<http://togetter.com/li/530345>

*1年後の続編

●2014.6.14-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別企画「潜在ユーザー発掘大作戦で大発見！！－ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディングを学んで－」九州国際大学図書館

http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140520

http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140614

「成果報告」Ustream ライブ配信中！

<http://www.ustream.tv/channel/%E5%A4%A7%E5%9B%B3%E7%A0%94%E7%A6%8F%E5%B2%A1%E6%94%AF%E9%83%A8-%E7%89%B9%E5%88%A5%E4%BE%8B%E4%BC%9A>

報告

http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140708

http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140710

教訓

研修のあり方を変える研修
事前課題(マエケン)
成果確認フォローアップ(アトケン)

【2】東海地区での講演の復習 *****

事例：東海地区

●2002.8.1-私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会第7回相互協力実務担当者研修会:講演「情報リテラシー教育と新しい図書館員像－『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで－」中京大学>>『館灯』41(2002), 2003.3
http://ci.nii.ac.jp/vo/issue/nels/AN00047850/ISS0000031434_ja.html

●2007.12.04-私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会「デジタルリソースのフル活用へ向けて－講習会の刷新からオンデマンド教材の開発まで－」名古屋大

ーデンパレス>> 『『館灯』46(2007), 2008.3
http://ci.nii.ac.jp/vo/issue/nels/AN00047850/ISS0000420327_ja.html

●2008.09.04-私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会図書館実務担当者研修会「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編1)－レイアウト改善の5つのポイント－」レイクサイド入鹿(愛知県犬山市) 『『館灯』47(2008), 2009.3

2008.09.05-全体講義2「なぜ研修の成果が出ないのか－現場で活かすための7つの秘訣－」>>『『館灯』47(2008), 2009.3

http://ci.nii.ac.jp/vol_issue/nels/AN00047850/ISS0000434119_ja.html

●2012.08.23-トサケン名古屋勉強会講演「図書館員の自分ブランディング戦略ー何を誰にどうアピールするかー」MYCAFE(名古屋市伏見)

<http://tosaken758.blog.fc2.com/blog-entry-2.html>

成果の応用実践

なかなか進まない

忙しいから

素朴な疑問

省力化のギリギリの努力は？

無駄な手間を省くためなら、どんな手間も惜しまない！(〃)；

事例：私短図協九州地区

●2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会「忙しい図書館員のためのPC使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう！ー」精華女子短期大学(福岡県福岡市)

・仁上幸治「忙しい図書館員のためのPC使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう！ー」『短期大学図書館研究』33, 2014.3, pp.107-122(講演録全文)

<https://docs.google.com/file/d/0BzjiFUntj382Ymw4VFE5X0phWnM/edit>

言い訳を封じる

創意工夫

率先垂範

【3】発想の転換 *****

1) 固定観念を捨てる

発想の転換

外の世界に目を開く

異業種の人材から発想や仕事術を学ぶ

弱点を逆手に取る

自虐ネタ

スベリ芸

事例

●誰も借りてくれない本 100冊 ICU 図書館で紹介:朝日新聞デジタル

www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html

2) ダメモト

どうせ無理と言わない

とりあえず交渉してみる

事例

●鎌倉幸子(シャンティボランティア会)

・MULU での出会い

2012.01.28-MULU(みちのくライブライアン連合)茶話会

・新宿区北図書館での偶然の再会

2013-07-14 図書館×広報×マーケティング

<http://ameblo.jp/1192-sachiko/entry-11572195358.html>

2013.8.8 ランチ@トルコ料理 ヒサル(新宿区百人町)

3) 何でもあり

話題を作る

日常をイベント化する

●図書館を愛してやまない人の飲み会

第3回「ここが変だよ図書館用語」(ソフトドリンクあり)

2013.09.27@シャンティ国際ボランティア会)

●図書館愛人協会(略称)

図書館を愛してやまない人協会

図書館を愛してやまない関根夕希子さんが伊勢に行く瞬間を見送る会

2014年7月1日 19:00 - 21:50

タイ国屋台食堂 ソイナナ(西新宿)

4) あるモノ使い

ヒト・モノ・カネ・トキの不足

できない言い訳

あるモノの徹底活用

とことん創意工夫

ヨコの連帯

事例

●里山資本主義

・『里山資本主義』藻谷 浩介/NHK広島取材班 角川書店, 2013.7.

<http://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784041105122>

里山のチカラ - NHK オンライン

<http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/satoyama/interview/motani01.html>

事例

●PPR(私立大学図書館協会企画広報研究分科会広報誌)

庄子隆弘@yunbo_7

本日の収穫。【私立大学図書館協会東地区部会研究部広報研究分科会広報誌PPR】「文房具もってかれ防止策」。

<https://twitter.com/search?q=%E6%96%87%E6%88%BF%E5%85%B7%E3%82%82%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%8B%E3%82%8C%E9%98%B2%E6%AD%A2%E7%AD%96&src=typd>

<https://twitter.com/search?q=%E6%96%87%E6%88%BF%E5%85%B7%E3%82%82%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%8B%E3%82%8C%E9%98%B2%E6%AD%A2%E7%AD%96&src=typd>

5) 「できない」と言わない

変化を嫌う図書館界の悪しき伝統

マイナス面だけをあげつらう消極的心性

事例

●ロックバランスィング

・石花ちとく

<http://www.ishihana.jp/>

世界が認める日本のロックバランスアーティスト(4'07")

<https://www.youtube.com/watch?v=z4J2jYcm0Qg>

事例

●新宿区立中央図書館

廃校になった中学校校舎へ移転

新館建設計画はビミョー？

Never Say Can't!

新宿区中央図書館の玄関にある標語)

<https://www.facebook.com/koji.nikami.10/posts/522106897894406>

旧中学校の玄関のまま

6) PULL から PUSH へ

来館者を増やすには？

利用・貸出を伸ばすには？

どんな広報で？

事例：ダイトケン兵庫支部兼 トサケンセミナー

●2012.02.18-大学図書館問題研究会兵庫支部 2月例会兼 トサケンセミナー「4月に使える！新入生ガイダンスの小ワザ即効テクニック！」講演「イマドキ学生気質報告ー司書課程受講生に見る理想の図書館員の能力と姿勢ー」キャンパスポート大阪

<http://karatekalibrarian.blogspot.jp/2012/02/4.html>

<http://karatekalibrarian.blogspot.jp/2012/02/blog-post.html>

http://karatekalibrarian.blogspot.jp/2012/02/blog-post_27.html

事例：ダイトケン全国大会

●2013.08.11-大学図書館問題研究会全国大会第8分科会：利用者支援「イマドキの大学生のココロをつかむー初年次教育・図書館ガイダンス・授業の導入部にもっと工夫を！」つくば国際会議場(茨城県つくば市)

<https://sites.google.com/site/dtk2013tsukuba/home/schedule/bunkakai#dai8>

無理！

啓蒙効果はせいぜい20%程度
「利用せざるを得ない」状況作りが必須

PUSH方式

自発的利用を強制する！(笑)

事例

●仁上の授業

・仁上幸治「情報リテラシー教育を担う小中学校教員をいかに養成するかー教職志望学生の徹底改造を目指す司書教諭科目からの提言ー」『帝京大学総合教育センター論集』(5), 2013, 2014.3, pp.69-93.

・仁上幸治「情報メディアは作ってみればわかるーメディアリテラシー指導のプロ教師を育てる授業の工夫ー」『帝京大学情報処理センター年報』(16), 2013, 2014.3.31(7.26 刊行), pp.95-109.

【4】演出力を鍛える *****

メディアを見る眼力

戦中派／戦後派
活字世代／マンガ世代
テレビ世代／ゲーム世代
オタク世代／ネット世代
世代の分断と連帯

ガイダンスという用語

初級概念の限界
名称変更
講習会
ワークショップ

「演出」という視点

オリエンテーション

同じ時間枠の中で同じ配付資料
時間配分や配付のタイミングしだい
受講者の集中度や理解度に差

講習会

論文検索のコツを説明する場面
使う例題の選び方
画像の見せ方
指導効果に差

3)講習会

導入部の演出
例題の選択と説明
正確さとわかりやすさの違い

演出

効果最大化のための現場レベルでの工夫

4)フライヤーとポスター

5つの最小基本原則
1.横組／縦組
2.左寄せ／中央合わせ
3.上下に分割／底上げ
4.大見出し／極小文字
5.下線／罫線／囲み

1) サイン

わかりにくい
どこですか質問の増加
事例

- セブンイレブン： コーヒーサーバー
- 山梨県立図書館
- 仙台メディアテーク

5)会議

提案力
会議資料
プレゼンテーション
交渉力

2)オリエンテーション(ガイダンス)

オリエンテーションの3つの評価基準

- ①図書館の便利さ、気軽さ、快適さ、自由さを印象づけたか
- ②図書館へ行こうという気持ちを持たせたか
- ② 図書館員の専門性を印象づけたか

図書館員のプロの技

情報の探索・整理・表現
メディアを作る力
メディアで魅せる力

オリエンテーションの4つのポイント

- 1.驚かす
- 2.対話形式
- 3.旬の話題
- 4.ワクワク感で終る

自分ブランディング

服装
登場のしかた
説明力
指導力

ルールとマナーの指導

図書館員の立ち位置
印象づけ視点から再考

仕事ぶりを見せる演出

厳しい社会情勢
苦しい後退戦
遊びとユーモアの精神

【5】演出研究のヒント *****

1)笑いの研究

ツカミ
落ち
落語
トーク番組・バラエティ番組

2)ライティング支援に踏み込む

レポート・論文作成は一連の作業
情報探索・整理の次は表現
大学の教育研究への直接貢献
専任・専門・正規の3条件の確保へ
事例
・筑波大学附属図書館 ライティング支援連続セミナー
http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/writing_seminar/chishikitokotoba.html
・早大:ライティング・センター所沢分室、図書館に開室！
http://www.wul.waseda.ac.jp/news/news_detail.html?news_no=440
参考
●帝京大学メディアライブラリーセンター(MELIC)講座
「レポート・論文作成「超」実用講座」2階 情報学習室
◎2012年度
・2012.07.12-第1回「即効入門編:ただの感想文じゃダメだったのか!?!の巻」
・2012.10.25-第2回「執筆準備編:いきなり書き始めちゃダメだったのか!?!の巻」
・2012.11.29-第3回「読解・下ごしらえ編:イイとこ取りの丸写しじゃダメだったのか!?!の巻」
・2012.12.06-第4回「執筆・仕上げ編:イッキ書き速攻提出じゃダメだったのか!?!の巻」
★配布資料,スライド,アンケート結果など資料一式公開中!
★ビデオ記録ウェブ公開開始!(学内限定)[2012年12月]
<https://apps.main.teikyo-u.ac.jp/tosho/lecture/report-koza.html>

3)街へ出る

市民講座の講師を務める
図書館活用法、データベース活用法など
事例
・梅澤貴典(中央大学学事部学事課副課長)
「誰でもできる! 知的生産のための図書館&公的データベース活用法」2014.7.26 墨田区 ひきふね図書館
<http://www.ustream.tv/channel/sumitoshopartners>
7月26日
手応えのある講習会でした!
本当にありがとうございました。
本日は、データベース活用講座にご参加頂き、大変ありがとうございました。梅澤先生のいなせな浴衣姿もご堪能頂けたと思います。(^^
講演会后、図書館関係者でお茶会をしました。
その後は花火大会へなど、三々五々と。。。
ustreamもよろしくお願ひします。
<http://hikifunetoshokanpartners.jimdo.com/>講座ライブ中継/

成果のリサイクル

市民からの評価が向上
評価の声を大学内へ逆輸入
大学図書館員の学内的評価を向上

◎自習文献 ★仁上初単著

・仁上幸治著『図書館員のためのPR実践講座一味方づくり戦略入門一』樹村房(2014年9月、シリーズ刊行開始予定:ブランディング入門、パスファインダー入門・・・)

■ 1. 参考文献 *****

●図書館利用教育ガイドライン

・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドラインー図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p:¥1500
・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.
・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践ーすべての図書館で利用教育をー』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3

●オリエンテーション・講習会

・仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法:印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学図書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.
・仁上幸治「オリエンはエンタメだ!ー素敵な印象を伝えるプレゼンテーションをー」『学図研ニュース』No.229,2005.3.1(特集オリエンテーション)pp.2-5.
・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けてー研究室内知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試みー」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. [全文]
・仁上幸治「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)ー素材を集め、問題を作り、要点を説明する方法ー」, 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践ーすべての図書館で利用教育をー』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3,

pp.88-108.

●広報・PR

・私立大学図書館協会東地区部会研究部図書館サービス研究分科会広報グループ『図書館広報を考えなおす』, 1982.12.
・高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治「新図書館とサインシステム計画」『早稲田大学図書館紀要』no.27,1987.3,pp.58-90. [全文]
・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開をめざしてー』日本図書館協会発売,2002.9 303p, ¥2381
・仁上幸治「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
・仁上幸治「図書館広報はなぜ読みにくいか(中級編)ーレイアウト改善の5つのポイントー」『館灯』47,2009.3.31, pp.124-129.
・仁上幸治「図書館を見違えるほど魅力的に!ー少人数職場ならではの即効変身術ー」『短期大学図書館研究』No.29 (2009), pp.49-53.
・仁上幸治「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集図書館アピール)
・仁上幸治「これからの「PR」の話をしようーいまを生き延びるための図書館経営学ー」『病院図書館』30(3), 2011.5,

pp.124-132. (特集「図書館のPR」)

●**広告**

- ・谷山雅計『広告コピーってこう書くんだ!読本』宣伝会議,2007.
- ・宣伝会議コピーライター養成講座編『最新約コピーバイブル』宣伝会議, 2007.
- ・デンツウデザインタンク編著 後藤徹 監修『新アートディレクター入門』電通, 2007.3
- ・姫路市立美術館,凸版印刷株式会社印刷博物館 編『大正レトロ・昭和モダン広告ポスターの世界 : 印刷技術と広告表現の精華』国書刊行会, 2007.7
- ・眞木準 著『胸からジャック。 : 心にささる一行メッセージのつくりかた。』大和書房, 2007.7
- ・オプスキュアインク 著『レイアウトデザインのルール : 目を引くページにはワケがある。』ワークスコーポレーション, 2008.2
- ・堀内敬一 著『売れる!チラシのデザインルール』グラフィック社, 2006.6

●**CIとブランディング**

- ・ケビン・レーン・ケラー(恩蔵直人・亀井昭宏訳). 戦略的ブランド・マネジメント. 第 3 版. 東急エージェンシー出版部. 2010.
- ・菅谷明子著『未来をつくる図書館:ニューヨークからの報告』岩波書店, 2003(岩波新書 新赤版 837). 735 円
- ・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略—デザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.
- ・仁上幸治「図書館の魅力は細部に宿る—「ちょとした工夫」を超えるブランド戦略—」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14. [全文 PDF]

●**図書館グッズ**

- ・図書館サービス・ツール研究会編著『ライブラリー・グッズの調査・研究と企画・開発』(平成 21 年東京都図書館協会研究助成報告書), 2010.2, 33p.
- ・仁上幸治「グッズが図書館を元気にする!—暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器—」(特集 ライブラリー・グッズ) [聞き手:鈴木正紀]『大学の図書館』426, 28(5), 2009.5, pp.70-75.
- ・仁上幸治; 中島玲子; 石川敬史「笑顔を生み出す「魔法」の戦略ツール—図書館グッズの研究・開発・普及活動—」『薬学図書館』55(2), 2010.4, pp.94-101.

●**プレゼンテーション**

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門—プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社, 2006.9(中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法—計画の立て方からパソコン利用法まで—』講談社, 1995(ブルーバックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術—意図を正しく伝えるための16のルール—』講談社, 1999.3(ブルーバックス,

B-1245)

- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術—最強のプレゼンテーション15のルール—』講談社, 2002.10(ブルーバックス, B-1387)
- ・ボブ・ポイルン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBS ブリタニカ, 1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10—話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10
- ・岩永嘉弘『「一行力」』草思社, 2004.4

●**指導法**

- ・岡本浩一『上達の法則—効率のよい努力を科学する』PHP 研究所, 2002.5(PHP 新書)¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには—駄目な犬の困った飼い主にならないために—』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)
- ・中野民夫『ワークショップ—新しい学びと創造の場—』岩波書店,2003.04(岩波新書)
- ・畑村洋太郎『「失敗学」事件簿—あの失敗から何を学ぶか—』小学館, 2006.4, ¥1300
- ・吉田新一郎『効果 10 倍の「教える」技術: 授業から企業研修まで』PHP研究所,2006(PHP新書)

●**「情報の達人」の歴史**

- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11,pp.798-799.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8. 1993.8, pp.553-556.
- ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像—『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3,p.39-52.
- ・仁上幸治「『図書館の達人』から『情報の達人』へ—利用者教育映像教材の進化 15 年の集大成—」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・『情報の達人』ホームページ:
<http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)

●**図書館長の仕事**

- ・『ある図書館長の一日 : 市町村立図書館経営の実際』紀伊國屋書店, 1998: (27 分): VHS (図書館の達人; 司書実務編 pt.3 ; 7).
- ・ちばおさむ『図書館長の仕事: 「本のある広場」をつくった図書館長の実践記』日本図書館協会, 2008 (JLA 図書館実践シリーズ; 10).

●**カメ**

- ・長坂拓也・文 大片忠明・絵『かめ』フレーベル館, 2009 (フレーベル館だいすきせん 26)
- ・田中美穂『亀のひみつ』WAVE 出版, 2012.8. ★倉敷の古書店「蟲文庫」店主

■ **2. 参考サイト** *****

【1】**広告**

- ・京都広告塾 編『巧告。 : 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京 : インプレスジャパン, 2007.8 <http://www.impressjapan.jp/books/2442.php>
- ・京都広告塾 編『効告。 : 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京 : インプレスジャパン, 2007.11 <http://www.impressjapan.jp/books/2483.php>
- ・京都広告塾 編『考告。 : 企画をヒットさせるために広告ク

リエイターたちが考えること』東京 : インプレスジャパン, 2007.10 <http://www.impressjapan.jp/books/2459.php>

【2】**広告アーカイブ**

- ・新聞広告データアーカイブ:
<http://www.pressnet.or.jp/adarc/data/>
- ・動画 NOW!! CM 企業 一覧:
<http://www.doga-now.com/company/>

- ・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>
- ・PRIR: <http://www.sendenkaigi.com/hanbai/magazine/prir/>
- ・百式 POP*POP 広告・マーケティング カテゴリー: <http://www.popxpop.com/archives/cat19/>

【3】デザイン

- ・服部デザイン研究所:「THE Know-How」レイアウト能力: http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl_lyt.html
- ・増田デザイン事務所 Masuda Design Office: <http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/index.html>
- ・グラフィックデザイン: <http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/graphic5.html>
- ・Mdn: <http://www.mdn.co.jp/content/view/6/18/> または <http://www.mdn.co.jp/content/category/38/27/55/>
- ・グラフィックデザイン: <http://www.mdn.co.jp/content/blank/89/130/>

【4】編集

- ・松岡正剛事務所 セイゴオちゃんねる: <http://www.isis.ne.jp/seigowchannel/>
- ・編集工学研究所: <http://www.eel.co.jp/>
- ・インス編集学校: <http://es.isis.ne.jp/>
- ・松丸本舗: <http://www.matsumaru-hompo.jp/>
- ・松岡正剛の千夜千冊: <http://1000ya.isis.ne.jp/>

【5】CIとブランディング

- ・パオス: <http://www.paos.net/>
- ・佐藤可士和: <http://kashiwasato.com/>

【6】編集・広告の学校

- ・編集の学校/文章の学校: <http://www.editorschool.jp/>
- ・～編集の現場から～ 文章上達のための練習問題: <http://www.raichosha.co.jp/mm/sentence.html>
- ・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>
- ・宣伝会議の教育講座: <http://www.sendenkaigi.com/kyoiku/>
- ・京都広告塾: <http://www1.newweb.ne.jp/wa/academy/>

【7】オフィスソフトを自習する

- Microsoft atLife <http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/>
- TIPS(使い方ガイド) <http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/>
- Office (オフィス) の活用方法と Tips をご紹介 <http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/office.aspx>
- Word <http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/word.aspx>
- Excel <http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/excel.aspx>
- PowerPoint <http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/powerpoint.aspx>

【8】プレゼンテーションの方法を学ぶ

- ・Presentation.jp (プレゼンテーション総合サイト): <http://www.presentation.jp/index.html>
- ・資料作成: http://www.presentation.jp/prjp/kuhow/siryou/trap_ppt.html
- ・高橋メソッド: <http://www.rubycolor.org/takahashi/>

■ 3. 講師紹介 *****

仁上幸治 (にかみ・こうじ): 図書館サービス計画研究所 代表/元・帝京大学総合教育センター准教授/元・早稲田大学図書館司書/非常勤講師歴(法政大学・亜細亜大学・東京家政大学・桜美林大学) ◎電子メール: nikamikoji@yahoo.co.jp
講演生涯合計 160 本(2013 年 8 月末時点) ◎ホームページ: <http://sites.google.com/site/nikamik23/>
◎図書館サービス計画研究所(略称トサケン): <https://sites.google.com/site/tosaken23/>
◎教材開発: ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD), 紀伊國屋書店, 2007.2.

◎著書

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック—広報戦略の全面展開をめざして—』日本図書館協会発売, 2002.9 303p, ¥2381
- ・戸田光昭[他]共著『改訂 専門資料論』樹村房, 2002.10 (新図書館学シリーズ第8巻), ¥1900
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』新訂版, 日本図書館協会, 2010.3 (菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, II-8)
- ・大学導入教育研究会編『よくわかるライフデザイン入門—大学生のための必須学習術—』第二版, 古今書院, 2011.2.10. 120p. ¥1900.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3

◎最近の論文 *著者ホームページで全文公開

- ・「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集 図書館アピール)
- ・「研究文献レビュー」『図書館の「広報」は進化しているか?—説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—』『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24 [CA1728] HTML 版: <http://current.ndl.go.jp/ca1728>
- ・「情報リテラシー底上げ奮戦記—自習時間ほぼゼロ学生のための論文・プレゼン指導—」『帝京大学総合教育センター論集』(2), 2011.3, pp.83-105.
- ・「図書館の魅力は細部に宿る—「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略—」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の形成—日本版ガイドラインの作成過程を中心に—」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』(2011.5.14), pp.91-94.
- ・「これからの「PR」の話をしよう—いまを生き延びるための図書館経営学—」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)
- ・「マルチメディアのフル活用による双方向授業の試み—スライドショー, 映像教材, ファイル配布・提出, アンケートの各システムを使い切る—」『帝京大学情報処理センター年報』

(13), 2011.3.31, pp.77-91.(実刊行日:2011.7.25)

- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の射程～情報リテラシー教育という枠組みの可能性と限界～」『日本図書館情報学会秋季研究集会発表要綱』(2011.11.12), pp.53-56.
- ・「学校図書館のブランディング戦略－評価されるためにギリギリまで工夫を！－」『学図研ニュース』No.326, 2013.4.1, pp.2-6.
- ・「図書館長のための自分ブランディング講座－内外に味方を増やすキャラクターの作り方－」全国公共図書館協議会研究集会講演録(2013.06.28-東京都立中央図書館)
- ・「情報リテラシー教育を担う小中学校教員をいかに養成するか－教職志望学生の徹底改造を目指す司書教諭科目からの提言－」『帝京大学総合教育センター論集』(5), 2013, 2014.3, pp.69-93.
- ・「忙しい図書館員のための PC 使い倒し「超」実用講座－省力効果絶大な便利技をマスターしよう！－」『短期大学図書館研究』33, 2014.3, pp.107-122. (CD-ROM 版あり) (2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会/精華女子短期大学)
- ・「情報メディアは作ってみればわかる－メディアリテラシー指導のプロ教師を育てる授業の工夫－」『帝京大学情報処理センター年報』(16), 2013, 2014.3.31(7.26 刊行), pp.95-109.

◎最近の講演(2012-)

- ・2012.01.12-関東地区公共図書館協議会 図書館運営研究会「図書館ブランディング「超」入門－何を誰にどうアピールするか－」浦和コミュニティセンター
- ・2012.01.26-仙台市民図書館研修「魅せるレファレンスサービスの極意－専門職のサバイバル戦略を練り直す－」仙台市泉図書館
- ・2012.01.28-MULU(みちのくライブラリアン連合)11月茶話会 話題提供「図書館ブランディング「超」入門講座－何を誰にどうアピールするか－」東北学院大学中央図書館
- ・2012.02.03-岐阜県図書館協会図書館活動研究大会 大会テーマ「広報戦略の実践へ！」講演「図書館ブランディング「超」入門－自己アピールのための広報戦略－」岐阜県図書館 研修室
- ・2012.02.16-国立大学図書館協会中国四国地区協会研修会「大学図書館の広報を考える」講演「大学図書館員の自分ブランディング戦略－専門職サバイバルのための非公式マニュアル－」広島大学東広島キャンパス
- ・2012.02.18-大学図書館問題研究会兵庫支部 2月例会兼 トサケンセミナー「4月に使える！新入生ガイダンスの小ワザ即効テクニック！」講演「イマドキ学生気質報告－司書課程受講生に見る理想の図書館員の能力と姿勢－」キャンパスポート大阪
- ・2012.02.24-芝浦工業大学図書館ガイダンス研修【講演とワークショップ】「オリエンテーションをもっと魅力的に！－すぐできる好感度アップ企画・演出術－」芝浦工業大学 豊洲キャンパス
- ・2012.02.27-帝京大学総合教育センター「公共図書館及び学校図書館スタッフ向けスキルアップ・セミナー」第1回・図書館広報講座「図書館ブランディング「超」入門 ～何を誰にどうアピールするか～」(講義とワークショップ) 帝京大学メディアライブラリーセンター情報学習室
- ・2012.04.27-私立大学図書館協会企画広報研究分科会(1)-分科会の歴史 帝京大学メディアライブラリーセンター
- ・2012.06.08-私立大学図書館協会企画広報研究分科会(2)-ブランディング 昭和女子大学 80年館 図書館
- ・2012.08.22-京都図書館大会-自分ブランディング検定 国立国会図書館関西館
- ・2012.08.23-トサケン名古屋勉強会-自分ブランディング検定 MYCAFE(名古屋市伏見)

- ・2012.09.03-私立大学図書館協会企画広報研究分科会(3)-利用者教育論 立正大学
- ・2012.09.14-埼玉県図書館協会平成24年度第4回図書館中級職員研修会 講義とワークショップ「図書館ブランディング実践講座－明日から使える即効ワークショップ－」埼玉会館 6D会議室
- ・2012.09.29-全国女性会館協議会・日本女性学習財団2012年度地域における男女共同参画関研修事業「女性関連施設の情報発信を再設計する－“アクティブ”を印象づけるブランド化戦略－」講義・ワークショップ「ブランディング超入門－何を誰にどうアピールするか－」日本女子会館5階会議室
- ・2012.11.21-図書館総合展フォーラム-トサケンセミナー「図書館員のための自分ブランディング検定」基調講演「図書館ブランディングの現在」パシフィコ横浜
- ・2012.12.14-図書館地区別研修中国・四国地区 講義とワークショップ「図書館ブランディング実践講座－何を誰にどうアピールするか－」岡山県立図書館 2階 多目的ホール
- ・2012.12.14-播但図書館連絡協議会研究集会「パスファインダー超簡単講座－新しい案内ツールをどう作るか－」姫路市立城内図書館 2階 大会議室
- ・2013.03.07-奈良県図書館協会公共図書館部会 職員研修会 講義とワークショップ「図書館ブランディング実践講座－見られたいイメージを地域ぐるみでアピールしよう－」奈良県社会福祉総合センター
- ・2013.03.07-図書館サービス計画研究所 トサケンセミナー in 三重「図書館員の自分ブランディング実践講座－見られたい自分イメージのコンセプトマッピング－」酒テラス Bamboo(三重県津市)
- ・2013.03.28-私立大学図書館協会企画広報研究分科会月例会 講演(4)「図書館オリエンテーションの検証－ガイドラインの目標はどこまで達成されたか－」帝京大学メディアライブラリーセンター
- ・2013.06.28-全国公共図書館協議会研究集会「図書館長のための自分ブランディング講座－内外に味方を増やすキャラクターの作り方－」東京都立中央図書館 4階 多目的ホール
- ・2013.07.06-07-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別研修「ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディング ～潜在ユーザー発掘大作戦～」九州女子大学・九州女子短期大学付属図書館 3F 多目的学習室(福岡県北九州市)
- ・2013.08.06-和歌山県学校図書館研究会学校司書部会研究会「もし学校図書館のマネージャーがケラーの『戦略的ブランド・マネジメント』を読んだら－イメージ革新のための劇的ビフォーアフター」県民交流プラザ和歌山ビッグ愛(和歌山市)
- ・2013.08.11-大学図書館問題研究会全国大会第8分科会:利用者支援「イマドキの大学生のココロをつかむ－初年次教育・図書館ガイダンス・授業の導入部にもっと工夫を！－」つくば国際会議場(茨城県つくば市)
- ・2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会「忙しい図書館員のための PC 使い倒し「超」実用講座－省力効果絶大な便利技をマスターしよう！－」精華女子短期大学(福岡県福岡市)
- ・2013.08.24-岡山県青年図書館員研修会サマーセミナー×交流会「おとなしい図書館員のための図書館PR大作戦！－企画・広報の即効お役立ち小ワザ交換会－」Cafe & Dining PEACH(岡山県岡山市)
- ・2013.08.25-金光図書館ミニセミナー「図書館員と図書館長のための自分ブランディング講座－内外に味方を増やすキャラクターの作り方－」金光図書館(岡山県浅口市金光町)
- ・2013.08.25-大学図書館問題研究会兵庫支部例会 兼 トサケンセミナー「イマドキの大学生のココロをつかむ－初年次教育・図書館ガイダンス・授業の導入部にもっと工夫を！

- ー関西学院大学大阪梅田キャンパス(大阪市北区)
- ・2013.10.12-デジタルメディア研究所・図書館サービス計画研究所共催「未来図書館創造会議ーみんなで図書館のことを考えるトークセッションー」基調講演(ウイングス京都、京都市)
- ・2013.10.18-石川県公共図書館長会議「図書館長のための自分ブランディング講座ーコンセプト作りからデザイン展開へー」石川県立図書館(金沢市)
- ・2013.10.29-図書館総合展フォーラム:企画広報研究分科会 30周年シンポジウム基調講演「図書館サバイバル用「万能道具箱」の今ー企画広報ツールの研究開発 30年の到達点と課題ー」パシフィコ横浜(横浜市)
- ・2013.11.14-私立大学図書館協会東地区部会研究部研修会「みつけよう・伝えよう 大学図書館の魅力」講演「大学図書館サバイバルのためのブランディング戦略ーコンセプトメイクからデザインへー」桜美林大学(東京都町田市)
- ・2013.12.05-文部科学省図書館地区別研修 関東・甲信越静地区「図書館ブランディング入門ー内外に味方を増やすコミュニケーション戦略ー」神奈川県立川崎図書館(川崎市)
- ・2013.12.28-教員免許状更新講習「学校図書館の活用」【講義と演習】「メディア活用についてのメディア活用による授業をデザインするー楽しさと便利さをキーワードにした学校図書館活用教育の改善ー」帝京大学(東京都八王子市)
- ・2014.01.31-山梨県立図書館 図書館職員専門研修「図書館ブランディング入門」甲府市立図書館(山梨県甲府市)
- ・2014.03.29-情報リテラシー教育フォーラム第3回研究会「教える側の情報リテラシーを問いなおすー学校図書館と司書教諭養成の今ー」話題提供「教職志望学生の基礎教養はこれでいいかー教える側の情報リテラシーの現状と課題ー」図書館サービス計画研究所 会議室(西新宿)
- ・2014.05.23-私大図協企画広報研究分科会月例会 講演(1)「企画広報力強化のための自主ゼミ型共同研究ー専門性崩壊状況における存在感訴求の可能性を求めてー」明治大学和泉キャンパス 図書館ホール

- ・2014.07.30-神奈川県教育委員会学校図書館ブランディング論研修講座「学校司書のためのブランディング入門ーイメージ革新のための劇的ビフォーアフター」神奈川県立神奈川総合高等学校 多目的ホール(神奈川県横浜市)
- ・2014.08.13-MULU5周年記念定例茶話会第50回「24時間茶話会 MULU は地球(みちのく)を救う!ー今日はまるごと図書館三昧ー」講演「お疲れライブラリアン講座 即効! 元気回復! PR・ブランディング・広報のソゴ技を一挙に紹介します!」東北大学川内キャンパス
- ・2014.09.04-05-私立大学図書館協会 中国四国地区協議会研究会「驚くほど学生が集まる図書館演出術ー少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデアー」山陽学園大学図書館(岡山市)

★講演予定(一部未定)

- ・2014.09.11-12-私立大学図書館協会 東海地区協議会実務担当者研修会「指導場面での演出力はこれでいいかー教える側の情報リテラシーを問いなおすー」名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎(名古屋市)
- ・2014.09.20-22-図書館サービス計画研究所+地域資料デジタル化研究会共催「図書館ブランディングフェスタ2014」(仮称)山中湖情報創造館(予定>>延期?)
- ・2014.10.10-千葉県「課題解決支援サービス研修会」千葉県立西部図書館
- ・2014.11.01-全国図書館大会 図書館利用教育分科会「図書館利用教育の実践力の今ー委員会創設25周年、次に向けての展望を開く」基調講演「図書館利用教育はどこまで進化したか」明治大学駿河台キャンパス(東京)
- ・2014.11.18-沖縄県図書館協会研修会 講演
- ・2014.12.10-文部科学省 図書館地区別研修 東海・北陸「利用者と呼び込むには」(仮題)石川県立図書館(金沢市)

以上(配付資料/2014.9.9作成) ■□■